

文化財



ヨヘエくん

せんだい

ほんちゃん



No. 120

平成30年(2018年)2月発行

仙台市教育委員会文化財課

仙台市青葉区上杉一丁目5-12

上杉分庁舎 10階

〒980-0011 Tel:022-214-8893



天平廻廊

写真コンテスト



史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設に隣接する休息棟「天平廻廊」を題材にした写真コンテストを実施しました。たくさんのご応募ありがとうございました。

応募総数53点の中から、来館された方や陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会の皆さんによる投票の結果、仙台市の庄子清史さんの作品が最優秀作品に決定しました。

最優秀作品はこちら!



コンテスト期間中の様子

とても
きれいだね

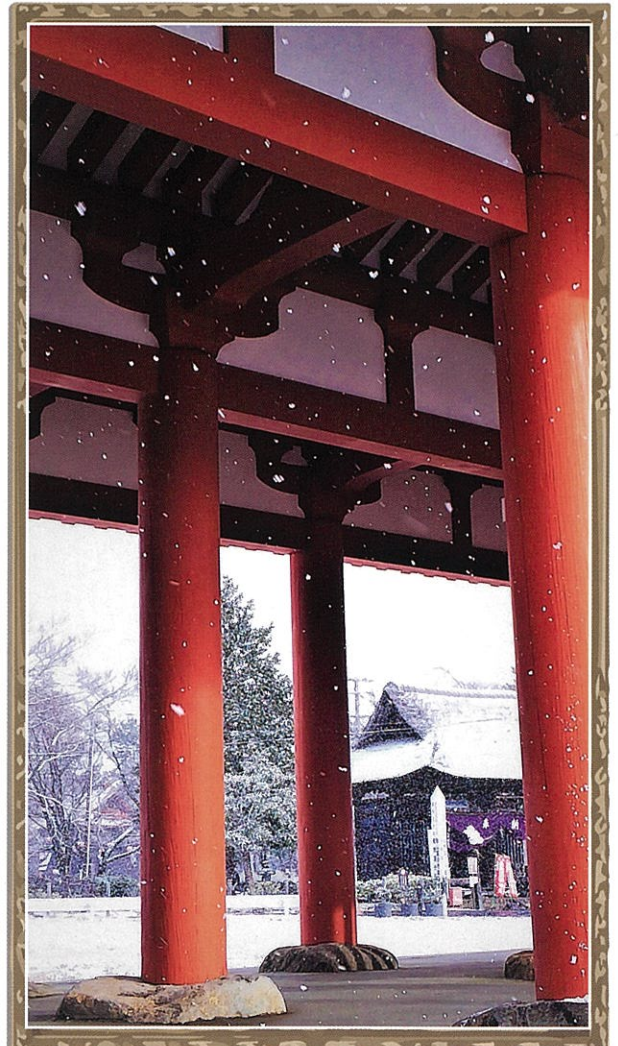


ヨヘエくん

祝☆来館者1万人突破!

平成29年7月28日に開館した史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設が、平成30年1月16日に来館者1万人を突破しました。記念すべき来館者は、東京から帰省中に立ち寄られた猪狩さん親子です。

開館から半年余りでの達成となりました。これからも多くのご来館をお待ちしています。

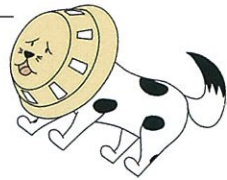


「雪の廻廊」

仙台市 庄子 清史 さん

文化財に指定・登録されました!

おめでとー



エンメンケン

祝 東北大学片平キャンパスの建物群

東北大学片平キャンパス(青葉区片平)は、東北帝国大学(東北大学の前身)発祥の地ですが、明治40年(1907)の設立以前から、第二高等中学校(のちの第二高等学校)や仙台医学専門学校(東北大学医学部の前身)、仙台高等工業学校の敷地としても使用されていました。区域全体が東北大学の管轄となった現在も、キャンパス内には、さまざまな歴史を持った建物が残っています。平成29年10月、キャンパス内の5棟の建物が国登録有形文化財となりました。

旧仙台医学専門学校博物・理化学教室(東北大学本部棟3)と旧仙台医学専門学校六号教室(東北大学魯迅の階段教室)は明治37年建築の建物で、キャンパス草創期の景観を今に伝えています。旧第二高等学校書庫(東北大学文化財収蔵庫)は、明治43年建築の建物で、当時の高等学校における書庫の重要性を示し、強固に造られています。旧東北帝国大学附属図書館閲覧室(東北大学史料館)は、大正15年(1926)建築の建物で、後に東北大学工学部教授となった小倉強により設計されました。旧東北帝国大学理学部化学教室棟(東北大学本部棟1)は、昭和7年(1932)建築の建物で、昭和初期の大学校舎の代表例です。



旧第二高等学校書庫(東北大学文化財収蔵庫)
※東北大学提供(東北大学キャンパスデザイン室撮影)



旧東北帝国大学附属図書館閲覧室(東北大学史料館)
※東北大学提供

祝 仙台消防階子乗り

梯子乗りとは、梯子の上で火事場を探す所作などを組み込んだ、さまざまな技を披露するものです。

本市においては、明治17年(1884)の新聞記事にも載っており、当時すでに梯子乗りが行われていたことが分かっています。以来今日まで、中断と復興を繰り返しながらも伝承されてきました。演じているのは市内7つの消防団により組織された「仙台消防階子乗り隊」で、乗り手の技の種類は60種類以上を数えます。

仙台消防階子乗りは、城下町を基盤に発展してきた本市の歴史を示し、都市における民俗のあり方を伝えるものと評価され、平成29年11月、仙台市指定無形民俗文化財に指定されました。



平成30年仙台市消防出初式での
青葉消防団階子乗り隊の演技



気になる! 続報!! 仙台発掘調査

仙台市では市内の多くの遺跡で発掘調査を行っています。平成29年度もいろいろな遺跡で発掘調査が行なわれました。文化財せんだい119号でも紹介しました『仙台発掘調査』、今回はその続報となります。どんな遺跡でどんなものが見つかったのでしょうか。注目される3遺跡をピックアップします。

鍛冶屋敷前遺跡 Pick Up 1

鍛冶屋敷前遺跡は、地下鉄南北線富沢駅の西方約1kmに位置する縄文時代と平安時代から中世にかけての遺跡です。今回の調査では、平安時代の竪穴住居跡6軒、竪穴遺構2基、溝跡・土坑が確認され、土師器・赤焼土器・須恵器・緑釉陶器・土製品・石器・金属製品などが出土しました。竪穴遺構からは、10世紀前半に使われた赤焼土器の小皿がまとめて出土しています。



調査区全域(西から)



河川跡から出土した弥生土器

Pick Up 2 高田B遺跡

高田B遺跡は、JR長町駅から約3.5km南東に位置する縄文時代から近世の遺跡です。仙台南部道路建設に伴う発掘調査では河川跡や弥生時代の水田跡などが発見されています。今年度は震災復興関連のほ場整備事業に伴う発掘調査を行い、弥生時代の河川跡や土器・石器などを含む層(遺物包含層)、古墳時代の溝跡などが確認され、たくさんの土器や石器、木製品が出土しました。

山田上ノ台遺跡 Pick Up 3

山田上ノ台遺跡は、JR長町駅から約5km西側に位置する旧石器時代から近世の遺跡で、「縄文の森広場」として整備されています。29年度の調査区からは縄文土器の破片などがたくさん見つかり、縄文時代の人々が土器などを捨てた場所なのではないかと考えられています。

調査期間に合わせて発掘体験も行われ、たくさんの市民の皆様に参加していただきました。



発掘調査の様子

第67回文化財展

政宗と発掘調査

まさむねくん

伊達政宗公生誕
450年記念

平成29年は伊達政宗公生誕450年の年でした。67回目となった今回の文化財展は『政宗と発掘調査』をテーマに11月22日～26日にかけてせんだいメディアテークで行いました。仙台城跡をはじめとした政宗ゆかりの地、そこでの発掘調査の成果について、遺物やパネルを展示しました。



文化財展最終日には、当時の調査担当者によるトークセッションが開かれ、発掘調査から感じた、思い描いた政宗について熱く語られました。たくさんのお客様にご来場いただきました。

教室外でも
出前授業



歩いて・見て・感じて発見!

仙台市文化財課では、小学校・中学校を対象に出前授業を行っています。これまで土器や石器、瓦などの発掘調査で見つかった遺物を活用した授業を実施してきました。

伊達政宗公生誕450年であった今年度は、教室での授業のほかに校外学習などで仙台城跡の案内の依頼を、これまでよりも多くいただきました。

仙台城跡の出前授業や講座では、文化財課職員がポイントを歩きながら紹介することができます。これからも私たちの身近にある仙台城跡を、講座で、授業で、ぜひご利用いただければと思います。



遺跡見学会など最新の文化財関連情報は仙台市文化財課のホームページで!!
<https://www.city.sendai.jp/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/bunkazai/>